

22 期生・2023 年 5 月 18 日のゼミのフィードバック

| | |
|--------|---|
| プレゼンター | 初めてのプレゼンで緊張し自分の言いたいことが上手くまとまらず、間が空いてスムーズに進めることが出来ずにフロアみなさんに迷惑をかけてしまった事が個人的に1番の反省点です。ですが、グループ分けを工夫しそれぞれ違った立場の考えを聞くことが出来たことに加え、自分たちでは解決できなかった問をみんなに考えてもらい、なるほどなど思う事ができた点は良かったと思いました。次回プレゼンをする際には今日の反省点を少しでも改善できるようにしたいです。 |
| プレゼンター | 進行の仕方や意見のまとめ方が少し雑になったり、強引に流れを作ってしまった部分があったように思えます。しかし、プレゼンター同士で助け合いながら、なんとか形に出来たので安心しました。最後少し時間が余ってしまったのですが、質問を増やし、臨機応変に対応できて良かったです。 |
| プレゼンター | よかった点：各チームから出る意見の予測をしていた為思っていた通りの進め方ができた点 改善点：時間の使い方の見積もりが甘く時間が思ったより余ってしまった点。リハーサルをもっとしっかりとすべきだったと感じる。 |
| フロア | テーマをいい子症候群にしたことによって、自分のことと関連づけて考えることができてよかった。また、チェックリストを作り、その結果でグループを決めるなどの工夫があって面白かった。 |
| フロア | 「今時の若い子」となればまさに自分たちのことを指すことと思いますが、改めてそれについて深く考えてみるのは難しいものでした。自分たちでも難しいのならば、その対象でない人たちは尚更難しく、だからこそ本などで議論されているのだと感じました。自分たちの性質について「いい子症候群」と言う名前がついただけでも少し進んだものなのかなと思います。最後のまとめでもありましたが、「いい子症候群」がどんなものかはっきり分からないが、知っておくだけで何か価値があるものだと思います！ |
| フロア | プレゼンの班分けがこれまで2回のようなランダムではなく、チェックリストを使って意味のある分け方になっていておもしろかったです。グループの話し合いでまとまりきらなかった部分をプレゼンターが上手くまとめて板書していた点も良かったです。 |
| フロア | 今回は割と色々な立場からの見方が多くあったように感じられた。タイプを三つに分けることでグループ1とグループ3とで意見が全く反対だったり、グループ2が問いかけによって、グループ1やグループ3に似通っていたり、綺麗に独立した意見だったり、質問によって自分では考えもつかなかった回答がたくさん合って、いろんな価値観があるんだと考えさせられた。 |

| | |
|-----|--|
| フロア | 本を使って途中までの内容という点ではうまくまとめていたし、質問も本の内容に沿っていたと思う。改善点については特になし、司会者がグループを回って意見を刺激している点も前回の良かった点を踏まえてよかったと思う。 |
| フロア | テキストを初めて用いる授業形式において、テキストを使わずに授業をやり切るというのは斬新で、尚且つ当テキストの初回授業として、いい子症候群というテキスト内で用いられてるワードの理解を深めるというのは良い切り口だったと感じました。ただ自分の中で、一つ一つの質問の解答が曖昧になってしまって少しモヤモヤしてしまいました。 |
| フロア | 今回の授業で最も面白い工夫だと感じたことは「いい子」傾向に応じてグループ分けがなされたことです。それによって同じグループの中でも違う点があることや、やはり共通点があることも確認できました。ただ最も「いい子」ではないグループに所属していた僕でも「いい子」である瞬間が見受けられたように感じたことも面白かったです。 |
| フロア | いい子症候群について深く知ることができました。いい子症候群が今の若者に多発していることは、社会問題になりうるかもしれないと思いました。 |
| フロア | ゼミの開始直後からアンケート→班わけが有り、それぞれ考え方の似たチームに別れて議題について深く考えることができた。考え方の違う人の意見を聞くことで自分では思いつかなかった意見を聞くことが出来たので良かったです。 |
| フロア | 私たち若者に当てはまる内容を深掘りしていくプレゼンで、共感できる部分もあり逆に疑問が浮かぶ部分もあって非常に有意義なプレゼンでした。会話が停滞する時間をもう少し活用できればよかったかなと思いました。 |
| 中澤 | 今日からテキストを用いたプレゼンが始まりました。テキストはプレゼンを作るための材料にすぎませんので、内容に即してくれても、内容に批判的であっても、どちらでもかまわないのですが、全3回のうちの最初の回は今日みたいに内容に即して作るほうがベターでしょうね。テキストの内容をゼミ生全体に共有してもらうことに役立ちますので。フロアに3グループに分ける方法がなかなか面白かったですね。その甲斐あって、どのグループでも活発に意見が出ていました。特に聖子さん・静香さんのGD課題は、テキストに書かれてないことまで含めて、かなり深い考察がなされていたように感じました。最後に余った時間を利用してプレゼンターが未解決の問題をみんなに考えてもらうようにしたのも良かったと思います。三人とも、お疲れさまでした。たいへん良かったです。僕自身は、授業でも言ったように、著者の現状分析にはおおむね賛成しますが、「いい子症候群」という名前を用いるのは、その内容と少しずれている気がしています。「(特に人間関係をめぐる)メンタル安定至上主義」くらい |

| | |
|--|--|
| | <p>のほうが実状に合致した名前ではないでしょうか。また、こうした現状が、どの程度日本に固有のもので、どの程度世代に固有のものなのか、もっと深く考えてみる価値があるように思われました。</p> |
|--|--|